

FUJILLOY

2021年3月期 株主通信

富士ダイス通信

2020年4月1日 ▶ 2021年3月31日

当社WEBサイトのご案内

最新のIR情報や詳しい情報は当社のWEBサイトにて紹介しております。ぜひご覧ください。

富士ダイス 検索

<https://www.fujidie.co.jp/>

証券コード：6167(東証一部)

連結業績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

売上高 **14,247** 百万円 経常利益 **300** 百万円
 営業利益 **96** 百万円 親会社株主に帰属する当期純利益 **468** 百万円

堅固な財務基盤に加え、潤沢な手元資金

●純資産 **188** 億円
 ●自己資本比率 **79.4**%
 ●ネットキャッシュ **65** 億円

富士ダイスの強み

超硬耐摩耗工具メーカー

- 世界最高水準の技術と技能による一貫生産体制



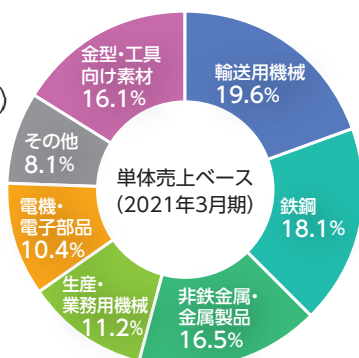
- お客様のニーズに最適な超硬合金製品を提供
- 超硬耐摩耗工具業界の国内トップシェアを堅持



取引先は業種も多岐に亘る

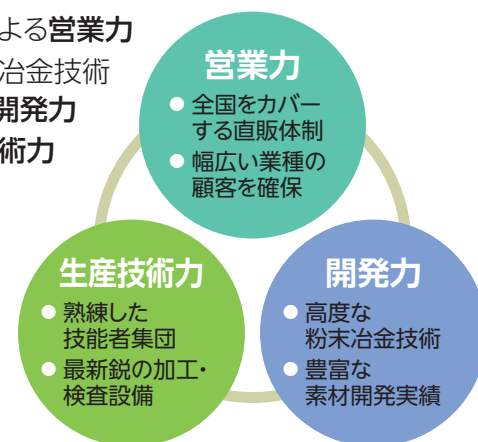
非常に広範な産業分野における部品製造や素材として利用されています。

- インフラ設備 (建築物や光通信など)
- 輸送用機械
- コンピューター
- 医療機器
- 家電製品
- 生活用品 他



競争力の源泉となる3つの力

- ①直接販売による営業力
- ②高度な粉末冶金技術による素材開発力
- ③高い生産技術力



創業から現在まで黒字経営

極めて堅固な財務基盤を維持しています。

- 創業以来約70年間黒字経営(赤字なし)
- 高い自己資本比率
- 潤沢な手元資金

配当方針

利益の状況、将来の事業展開等を総合的に判断し、適切な利益配分を行うことを基本方針としております。今後は、財政状態及び経営成績を勘案した上で、安定した配当を継続していく予定です。

期末配当 **22円**

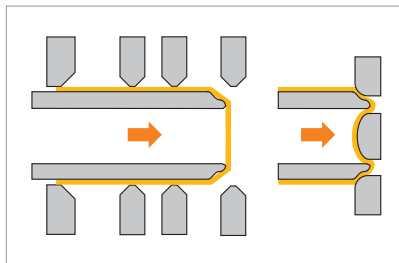
超硬耐摩耗工具の代表的な製品例

製缶金型

ビールやコーヒーなどの飲料缶を作る金型です。
摩耗に強い超硬合金は、飲料缶の大量生産向けの金型に最適です。



使用イメージ



最終製品例



飲料缶



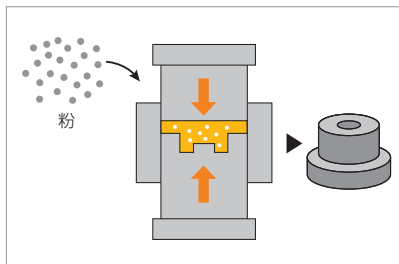
一般食缶

粉末成形用金型

金属の粉末や熱硬化性の樹脂などを押し固めて成形する金型です。
ギア形状など複雑なカタチにも対応可能です。



使用イメージ



最終製品例



マグネット



自動車部品



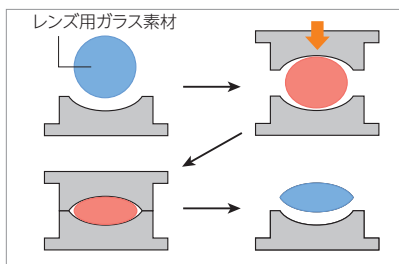
半導体部品

光学素子(レンズ)成形用金型

極めて高い寸法精度が求められる「超」精密な金型です。
温度と湿度の管理が重要なため、専用の加工室で生産しています。



使用イメージ



最終製品例



カメラレンズ



スマートフォン
レンズ



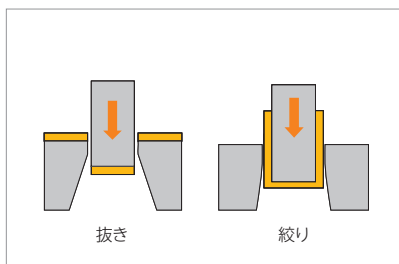
内視鏡レンズ

電池関連金型

電池の金属ケースを作るための、絞りや抜き金型です。
車の電動化など蓄電池需要の拡大に対応する製品です。



使用イメージ



最終製品例



各種電池



車載用電池

Environment

環境

エコカーの導入50%超

当社では、営業活動時に安全で環境負荷の少ないエコドライブの推進をしています。社用車として使用する自動車は、2012年からエコカーを導入しており、2021年3月末時点で約5割をエコカーに切り替えています。今後も順次エコカーへの切り替えを進めていきます。



Social

社会

福祉施設への寄付・慰問

当社では1994年9月より、毎月「粗食の日」を実施しております。月に1回、社員食堂の食材を昼食費の半額で賄い、差額を「余剰金」として積み立てています。この余剰金と社員からの募金、会社からの拠出金を合わせて、事業所の近辺の福祉施設（計6カ所）に毎年寄付や慰問を行っています。今後も社員と会社が連携し地域に貢献していきます。



Governance

ガバナンス

新社長の紹介

2019年12月に設置した「指名・報酬委員会」から指名を受け、2021年4月より新社長が就任しました。



代表取締役社長
久保井 恒之

経歴

1981年 3月	芝浦工業大学卒
1981年 4月	当社入社
2014年 6月	当社取締役生産本部長
2018年 10月	当社常務取締役営業本部長
2020年 11月	当社取締役副社長
2021年 4月	当社代表取締役社長

メッセージ

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない状況下で経済全体への影響は勿論、行動制限により展示会や商談等の営業活動にも大きな変化が生じております。加えて、諸業務の効率化を目的としたデジタルトランスフォーメーション（DX）への対応が急務となっています。また、当社主要顧客の市場である自動車業界は、世界的な潮流である次世代自動車（EV等）への転換が加速する中、自動車部品生産用工具・金型を供給する当社にとって、EV関係の部品を対象にした新たなニーズや新分野への参入等の対応は最優先課題であります。これらの大きな課題をチャンスと捉え、従来の考え方に固執することなく、柔軟で自由な発想により革新を起こしながら持続的な成長を目指す決意です。

用語解説

エコカー

エコカーとは、窒素酸化物や二酸化炭素の排出量を抑えて環境に配慮し、燃費性能が高い車のことです。対象車として、ハイブリッドカーや電気自動車などがあります。

ごあいさつ

平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当社第65期(2020年4月1日から2021年3月31日まで)の事業概況につきましてご報告申し上げます。

当社グループは「挑戦」を年度方針に掲げ、高品質・低コスト・短納期・充実したサービス向上に努めてまいりました。その結果、溝付ロールや粉碎工具の販売、海外での半導体関連需要の拡大による超硬金型素材の販売増加や電池金型用素材の拡販、レンズ金型の販売は堅調に推移しました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大による世界的な自動車需要の落ち込みにより自動車関連の市況悪化を受け、自動車部品生産用金型の販売が低調で、連結売上高は前連結会計年度比において減収となりました。

中期経営計画(2018年度～2020年度・連結)

■ 振り返り(業績指標)

初年度に関しては、ほぼ計画通りに推移しましたが、米中貿易摩擦から派生した世界規模の経済低迷や新型コロナウイルス感染症による影響を回避できず、2020年度の業績指標はいずれも計画を下回りました。

	2017年度	2018年度		2019年度		2020年度	
	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
売上高	179億円	183億円	183億円	187億円	174億円	190億円	142億円
経常利益率	8.1%	7.8%	7.3%	7.4%	5.8%	7.5%	2.1%
経常利益	14.7億円	14.3億円	13.4億円	13.9億円	10.0億円	14.3億円	3.0億円
当期純利益	9.3億円	9.6億円	9.5億円	9.9億円	6.2億円	10.4億円	4.6億円
ROE	5.1%	5.1%	5.1%	5.2%	3.3%	5.3%	2.5%

■ 振り返り(総括)

重点施策	評価	総括
成長力・収益力の強化	△	● 米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、業績指標は目標未達 ● 不採算製品の見直しを行い、収益性を改善 ● 生産体制等の最適化や効率改善の取り組みは進行中
顧客ニーズの変化への柔軟な対応	○	● 次世代自動車向けの高難易度製品への対応を実現 ● 地域の市場規模に対応した営業部門の再編や、マーケティンググループの立上げを実施
海外展開	△	● 海外売上高は国内同様、外部環境悪化の影響により減少 ● 中国や北米向け販売が増加 ● 海外売上高比率は上昇
新製品開発 新技術開発	△	● 次世代自動車分野を中心に、新材種、新製品を開発 ● 新材種、製品開発のスピードアップと、開発品の拡販が課題

世界の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。こうした状況の中、2021年度(2022年3月期)からの3ヵ年を対象期間とした新中期経営計画を策定いたしました。新中期経営計画期間である2021年度から2023年度は、コロナ禍からの回復及びコロナ禍後の成長のための助走期間と位置づけ、「筋肉質な企業体質への転換、中長期の成長基盤の構築」をコンセプトに各種施策に取り組んでまいります。

当社グループの活動状況につきましては、更なるご理解を頂けるように透明性、公平性、継続性を基本として積極的な情報開示をしていきます。今後とも、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2021年6月



代表取締役社長

久保井 恒之

新中期経営計画(2021年度～2023年度・連結)

■ 成長戦略

筋肉質な企業体質への転換、中長期の成長基盤の構築

生産性向上・業務効率化

生産プロセスの改善、ITを活用した業務効率化により、利益が出せる少数精鋭による筋肉質な体質を目指す

次世代自動車への対応・拡販

市場動向に即したソリューション提供による顧客の主要サプライヤーとしての地位確立

新成長エンジンの創出

顧客の新たな価値創出につながるソリューション提供により、市場ニーズを先取りした高付加価値製品の開発

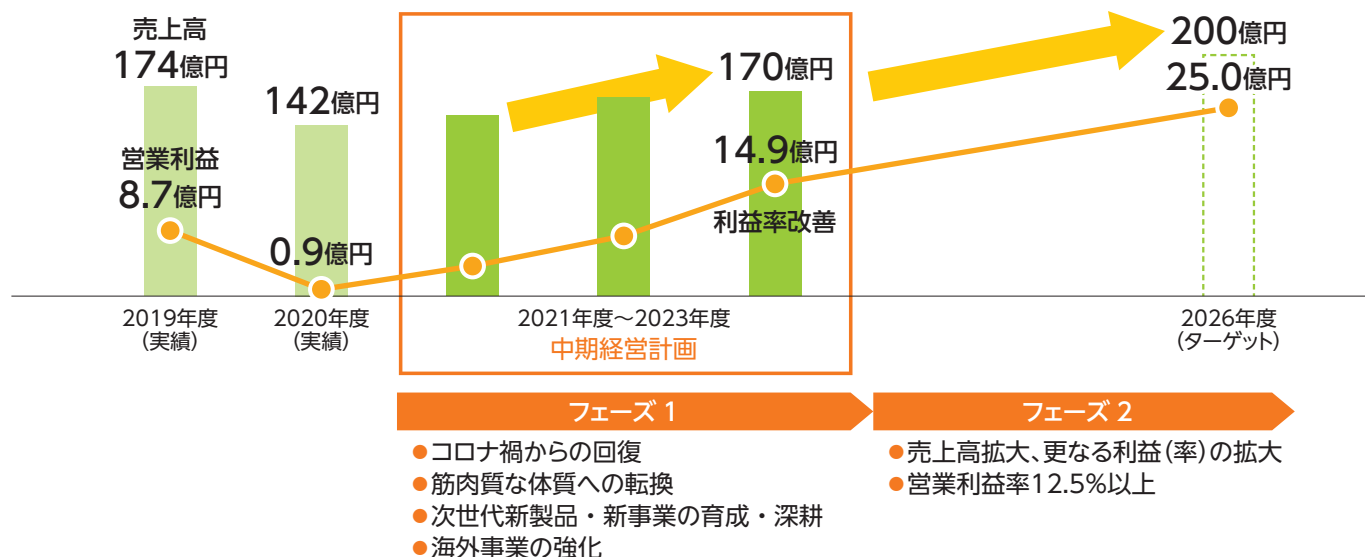
海外事業の強化

アジア地域を中心とした海外売上高の拡大、管理機能の強化による海外子会社の経営安定化

■ 中期経営計画(2021年度～2023年度)の位置づけ

2026年度の売上高200億円達成をターゲットと定め、新たな中期経営計画はそのフェーズ1として、筋肉質な体質への転換、次世代新製品・新事業の育成・深耕および海外事業の強化を目指します。

■ 売上高 (億円) ■ 営業利益 (億円)



コーポレートデータ

■連結決算データ

(単位:百万円)

	2018年3月	2019年3月	2020年3月	2021年3月
売上高	17,990	18,356	17,426	14,247
営業利益	1,465	1,272	875	96
経常利益	1,473	1,348	1,008	300
親会社株主に帰属する当期純利益	932	950	625	468
1株当たり当期純利益(円)	46.63	47.54	31.25	23.49
総資産	26,245	25,752	24,815	23,733
純資産	18,397	18,749	18,969	18,840

■会社概要 (2021年3月31日現在)

社 名 富士ダイス株式会社
 創 業 1949年6月6日
 本社所在地 〒146-0092
 東京都大田区下丸子2-17-10
 資 本 金 164百万円
 拠 点 営業拠点13 生産拠点7
 グループ会社 国内2社 海外5社
 従 業 員 1,139人(連結)

■役員一覧 (2021年4月1日現在)

代表取締役会長 西嶋 守男 常勤監査役 宮川 弘
 代表取締役社長 久保井 恒之 社外監査役 岸田 一男
 常務取締役 春田 善和 社外監査役 大森 実
 取 締 役 津田 雅宣
 取 締 役 篠宮 護
 社外取締役 本多 實
 社外取締役 澤井 英久

■株主メモ

事 業 年 度 毎年4月1日から3月31日まで
 定 時 株 主 総 会 毎事業年度終了後3ヶ月以内
 株 主 確 定 基 準 日 毎年3月31日
 剰余金の配当基準日 毎年3月31日および9月30日
 株 式 の 売 買 単 位 100株
 証 券 コ ー ド 6167
 上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 市場第1部
 株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 連 絡 先 東京都府中市日鋼町1-1
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号

公 告 方 法 電子公告により行います。ただし電子公
 告によることができない事故その他やむ
 を得ない事由が生じたときは、日本経済
 新聞に掲載して行います。公告掲載URL
<https://www.fujidie.co.jp/>

■IRカレンダー

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
● 期末決算			● 第1四半期決算			● 第2四半期決算			● 第3四半期決算		
● 招集通知			● 定時株主総会			● 株主通信			● 期末配当基準日		
			● 株主通信								

富士ダイス株式会社

〒146-0092 東京都大田区下丸子2-17-10
 TEL:03-3759-7182
<https://www.fujidie.co.jp/>



トップページ



IR情報



本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は、当社の予想と異なることがありますので、ご承知おきください。